

登録コード	MA750800	開講年度	2026			
授業科目名	組織細胞病態検査学特論			担当教員	木村 文一 他	
英文授業名	Special Lectures in Cell and Tissue Pathophysiology			副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・6時限	対象専攻 / 学年
講義室	保健学科 2 2 2 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学、保健学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて医療、医学研究もしくは教育を実践できる。				高度専門職業人・研究者として、健全な倫理観と深く正確な技術を習得し、研究の遂行と教育を実践できる。	
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				組織および細胞に認められる形態変化の分析能力を習得し、形態的变化と病態を関連づけて病態を解析することができる。	
(2)授業の概要	本授業は担当教員の基礎医学ならびに臨床医学における実務経験を活かして講義を行うものである。疾病の病態と発生機序について、組織および細胞に認められる形態的变化と遺伝子レベルの変化を関連づけ学ぶ。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	1. 基本的な疾病における組織および細胞に認められる形態変化の評価に必要な形態的検査手技を理解できるようになる。 2. 基本的な疾病における組織および細胞に認められる形態変化の分析能力を身につけることができるようになる。 3. 基本的な疾病、病態および発生機序を理解できるようになる。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	呼吸器、循環器、消化器、内分泌臓器および泌尿・生殖器の基本的疾病における組織および細胞に認められる形態変化の分析能力を身につけ、形態的变化を理解し、また病態および発生機序を説明できるようになる。					
(5)授業計画	4/9 第 1 回 画像診断（木村） 4/23 第 2 回 病事情報学（木村） 5/7 第 3 回 内視鏡検査と内視鏡手術材料（木村） 5/14 第 4 回 病理診断と遺伝子解析技術（木村） 5/21 第 5 回 病理診断と標的療法（木村） 5/28 第 6 回 病理診断における免疫組織化学（木村） 6/4 第 7 回 医療統計学（木村） 6/11 第 8 回 病気と遺伝子（木村） 6/18 第 9 回 癌（総論）（木村） 6/25 第10回 免疫疾患（木村） 7/2 第11回 呼吸器（木村） 7/9 第12回 循環器（木村） 7/16 第13回 消化器（木村） 7/23 第14回 内分泌臓器（木村） 7/30 第15回 泌尿・生殖器（木村）					
(6)授業の進め方	スライド教材を使用した講義と組織標本の作成・評価法の実技をまじえ教授する。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回、授業前後に予復習のためのワークをeALPSにアップする。それは次回の授業で回収するので、自分で印刷して持参すること。					
(8)成績評価の方法	講義・実習で触れた解析法の理論と結果の解析法等についての理解度・到達度をレポートにより評価する。					
(9)成績評価の基準	講義・実習で触れた解析法の理論と結果の解析法等についての理解度・到達度をレポートにより以下様に評価する。 基準) 問題の設定が適切であり、その問題の背景を説明できており、その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。 から の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問、相談には講義中および研究室にて対応します。 木村文一 kimura_f@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト、教材、参考書】	教科書：指定せず 参考書：Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease Elsevier Saunders					